|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 特 | ６ |  |

※提出する際、この吹き出しは削除してください。

所属部（例：小学部）を入力してください。

※提出する際、この吹き出しは削除してください。

〇〇特　第〇〇〇号

令和〇年〇月〇〇日

提出する際、このようにして提出してください。

文書番号

令和　年　　月　　日

　教育研修課長　様

学校名

校長名　　　　　　　　（公印省略）

令和４年度６年目研修「自己評価票（研修後）」及び「６年目研修 報告書」について（送付）

　　このことについて、次のとおり提出します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研修対象教員　氏名 | 提出文書（様式） |
|  | 自己評価票（研修後）　（様式１） |
| ６年目研修 報告書　　 （様式３） |
| 学習指導案 |

（様式１）６年目研修（特）　　　　　　自　己　評　価　票

所属校名（　　　　　　　　　）

１　研修対象教員

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 学級・HR担任 | 担当教科 | 主たる校務分掌 |
|  |  |  |  |

＊1 学級HR担任は学年を記入し、正担任・副担任・学年係等の別は(　)に記入。

＊2 担当教科は、主に担当しているものを記入。

２　自己評価　　【資質向上期】 実践を積み上げ、専門性を高め、学校の推進力となる。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 評　価　の　観　点 | 自　己　評　価 |
| 研修前 | 研修後 |
| 学習指導 | 授業構想 | ①幼児児童生徒の健康・障がいの状態、発達の段階、興味・関心等の観点から、実態を的確に把握して個別の指導計画等を作成し、それに沿った授業を計画することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 授業実践 | ②個別の指導計画等に基づくと共に、活動時の状況に応じて指導方法・体制等を変更する等、他の教員等と協働して、幼児児童生徒への効果的な指導・助言を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 評価改善 | ③幼児児童生徒への指導・援助について、自身の授業実践とともに、チームとしての授業実践について適切な授業評価を行い、授業の内容や方法、個別の指導計画等を改善することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計１＝学習指導①＋②＋③の合計 |  |  |
| 生徒指導等 | 幼児・児童・生徒理解 | ④幼児児童生徒の実態や状況について、自らのもつ情報と周囲からの情報を合わせて分析し、多面的に把握することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 生徒指導 | ⑤幼児児童生徒の発揮させたいよさと具現したい姿を具体的に想定し、その実現のための中・長期的なプランを想定した指導・援助を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| キャリア教育 | ⑥幼児児童生徒の実態やニーズに基づいた社会自立を目指し、個別の教育支援計画等を活用し、保護者、関係機関と連携し、他の教員等と協働して指導・援助を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計２＝生徒指導等④＋⑤＋⑥の合計 |  |  |
| 経営・分掌 | 学級・学年・部・学校経営 | ⑦学校・部等全体を見通した年間指導計画等を作成し、他の教員等と協働して、学級（ＨＲ）・学年経営を行うことができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 連携・協働 | ⑧幼児児童生徒の健康・成長を常に念頭において、他の教員等と強みを生かし合える関係を結び、保護者等と円滑な関係を保つことを意識しながら、業務を行うことがで きる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 危機管理 | ⑨事故等の発生時や未然防止について、場面に応じて迅速に行動することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 小計３＝経営・分掌⑦＋⑧＋⑨の合計 |  |  |
| ＩＣＴや情報・教育データの利活用 | ⑩ICTを効果的に活用した授業実践等を行い、校務の効率化及び幼児児童生徒の学習や生活の改善を図るため教育データを適切に活用することができる。 | ４-３-２-１ | ４-３-２-１ |
| 総合計①～⑪ |  |  |

※下記の「評価基準の目安」を参考に、該当する数字を「○」で囲んでください

□　評価基準の目安

４:達成している　　　　　　　…　適切に指導するための知識・技能が身に付いているとともに、１～３年目の教職経験者に

対して、助言をすることができる。

３:おおむね達成している　…　適切に指導するための知識・技能が身に付いている。

（現在まで実際の経験はないが、基礎的な知識はあり、その立場になった場合には、必

要となるような知識・技能を磨きつつ、対応することができる。）

２:やや努力を要する …　各指導や業務において知識・技能の不十分さを感じている。

（現在まで実際の経験はないが、その立場になった場合には、必要となるような知識・技

能を身に付けるための方法を知っており、学びつつ対応することができる。）

１:努力を要する　　　　　　 …　各指導や業務において分からないことが多く、必要な知識・技能が身に付いていない。

（現在まで実際の経験がなく、実際の指導が困難であり、困難を解消するための方法を

知らない。）

校長欄　※計画書と一緒に提出する際には記入せず、報告書と一緒に提出する際に記入する。

|  |
| --- |
| ※提出する際、この欄に記載されている文は消去してください。この欄には「研修の総括及び今後の自己研修に向けての展望及び期待」について記してください。　作成の手順は「自身で作成⇒校長からの指導を仰ぐ⇒必要に応じて加除修正」としてください。 |
| 令和　　年　　月　　日　　学校名　　　　　　　　　　　　　　　校長名　 | （公印省略） |

（この票は、研修対象教員の自己評価と岐阜県教員育成指標に照らして、校長面談等に基づき作成する）

※提出について

・「６年目研修 計画書」と一緒に提出する際、

「２ 自己評価（研修前）」を記入し、提出する。その際、「校長欄」は記入しない。

・「６年目研修 報告書」と一緒に提出する際、

「２ 自己評価（研修後）」と「校長欄」に必要事項を追記し、提出する。

様式３

**令和４年度　６年目研修**報告書

**１　研修対象教員**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 学級・HR担任 | 担当教科 | 主たる校務分掌 |
|  | 第　学年（　　　） |  |  |

＊1 学級HR担任は学年を記入し、正担任・副担任・学年係等の別は(　)に記入。

＊2 担当教科は、主に担当しているものを記入。

**２　研修内容**

**（１）校外研修**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **日数** | **期日** | **主な研修内容** | **会場****形態** | **指導者等** |
| １日目 | 　月　　日（　） | ・６年目研修の目的と内容　・教職員の使命と服務　・生徒指導・教育相談（いじめ対応）・人権教育　・外国人児童生徒への日本語指導　等 | 勤務校オンライン研修 | 教育研修課 |
| ２日目 | 　月　　日（　）　 | ・特別支援学校の教員に求められる資質・特別支援学校卒業後の進路について・６年目として、学校において必要な資質とは | 総合教育センター集合研修 | 教育研修課 |

**（２）校内研修**

|  |
| --- |
| **「学習指導」について** |
| 研　究　会実施期日 | 令和　　年　　月　　日（　） | 時間 | ～ |
| １　研修テーマ |
| ２　実施内容 |
| ３　研究会での主な発言と指導講評（指導助言）の記録 | 研究会の主な参加者・・・・ |
| ４　成果と課題 |
| **「生徒指導」について** |
| １　研修テーマ |
| ２　実施内容 |
| ３　成果と課題 |
| **「経営・分掌」について** |
| １　研修テーマ |
| ２　実施内容 |
| ３　成果と課題 |

※提出する際、以下は消去してください。

１ 様式３については、Ａ４用紙１～２頁程度(表裏１枚以内)に簡潔に記述すること。

２「学習指導」の研修においては研究授業・授業研究会の実施について報告すること。

　・研修テーマに沿っていれば、実施段階での、計画との変更も可とする。

　・本報告書に、実施済の「学習指導案（略案可）」を添付して提出する。